2027年3月期

第2四半期決算説明資料

証券コード：7868

2026/11/10

KOSAIDO GROUP
KOSAIDO HOLDINGS

0 目次

1 2027年3月期 第2四半期決算説明 P. 2

・2027年3月期 第2四半期業績（連結）
・2027年3月期 第2四半期業績（セグメント別）
・各事業セグメントの状況

2 株主還元 P. 10

・2027年3月期 中間配当について

3 2027年3月期 重点施策進捗およびトピックス P. 12

・成長投資｜葬祭セグメント：「東京博善のお葬式」ホールの展開
・成長投資｜情報セグメント：DSR（デジタル・ショート・ラン）の始動
・トピック｜プライム市場 上場維持基準への適合

4 2027年3月期 業績予想・配当予想 P. 16

・2027年3月期 業績予想
・2027年3月期 配当予想

A ご参考資料 P. 20

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1

2027年3月期 第2四半期
決算説明

2027年3月期 第2四半期業績（連結）

第2四半期（累計）は減収減益となるも、第2四半期（会計期間）では増収・営業増益に転換

- 累計の減収減益は、第１四半期を中心に、前期あった資産コンサルの大型ＰＪ剥落、新聞印刷撤退、求人媒体事業譲渡に伴う影響が主因。
- 第２四半期単体では、上記の特殊要因の一巡とともに、収益状況は改善傾向に向かい、前年同期比で増収・営業増益に転換。

（単位：百万円）

	2027年3月期 第2四半期（累計）	2026年3月期 第2四半期（累計）	前年同期比		**2027年3月期 第2四半期（会計期間）**	前年同期比
			増減	増減率(%)		増減率(%)
売上高	**15,898**	16,459	△ 561	△ 3.4	**8,349**	0.5
営業利益	**2,482**	2,793	△ 311	△ 11.2	**1,350**	0.9
経常利益	**2,440**	2,693	△ 253	△ 9.4	**1,296**	△ 2.4
親会社株主に帰属する中間純利益	**1,890**	2,154	△ 263	△ 12.2	**922**	△ 12.0

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-02　2027年3月期 第2四半期　事業セグメント別業績サマリ

（単位：百万円）

	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）
葬祭公益	↓ **2,485**	2,526	△ 41	△ 1.6	↑ **377**	364	13	3.7
葬祭収益	↑ **5,146**	4,952	194	3.9	↓ **1,581**	1,660	△ 79	△ 4.7
情報	↓ **5,767**	6,061	△ 294	△ 4.8	↑ **△ 50**	△ 81	31	―
人材	↓ **2,438**	2,700	△ 262	△ 9.7	↑ **4**	2	2	45.0
資産 コンサルティング	↓ **59**	218	△ 159	△ 72.9	↓ **19**	55	△ 36	△ 65.0
調整額等			0	―	↓ **549**	792	△ 243	△ 30.7
合計	↓ **15,898**	16,459	△ 561	△ 3.4	↓ **2,482**	2,793	△ 311	△ 11.2

↑・↓ ･･･ 前年同期比増減

- **売上高は、情報・人材・資産コンサルにおける事業再編や前期案件の剥落が響き減収となった一方、葬祭収益が増収を確保。**
- **営業利益は全体として減益であるものの、情報の損失縮小や人材の増益など、着実な改善傾向が表れている。**

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-03　2027年3月期 第2四半期｜葬祭公益セグメントの状況

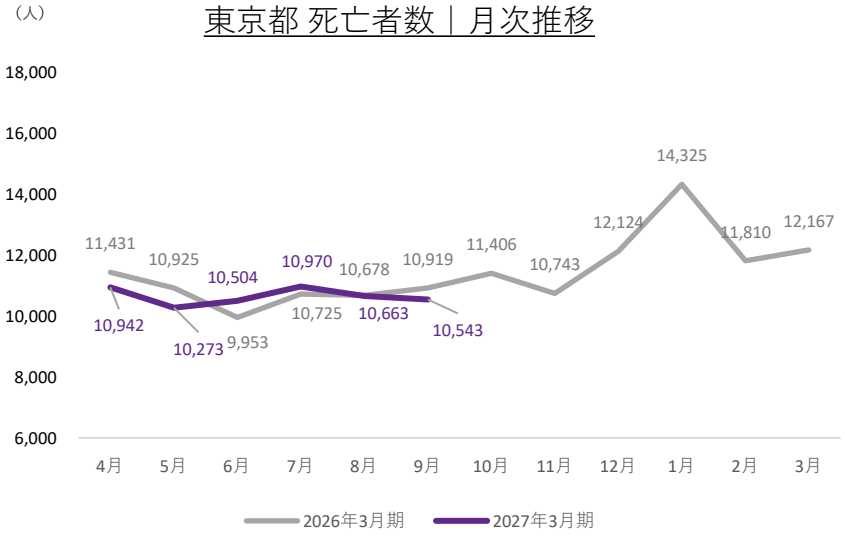
（単位：百万円）

	会計期間								累計							
	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比		売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）
葬祭公益	**1,249**	1,241	8	0.7	**190**	178	12	7.3	**2,485**	2,526	△ 41	△ 1.6	**377**	364	13	3.7

［事業概況（累計）］

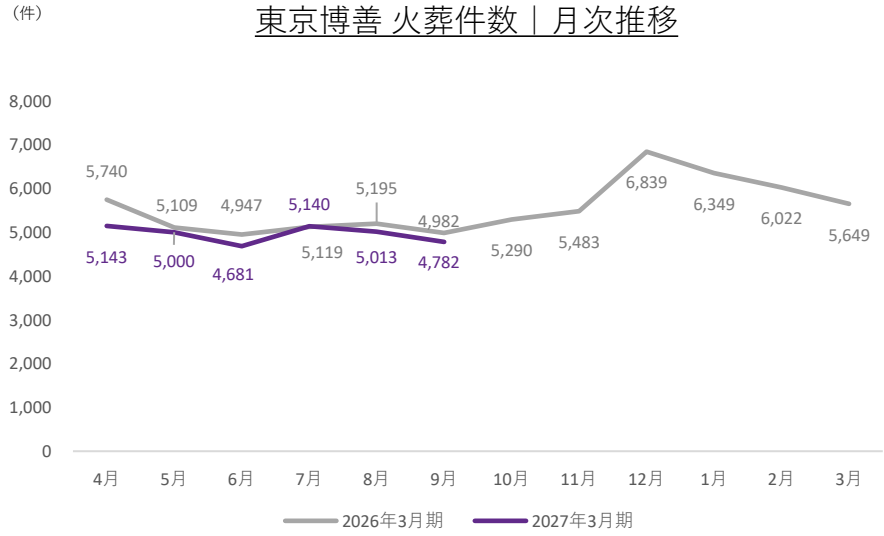
- 火葬件数が減少（前年同期比95.7%）した影響により減収となったものの、サービス品質の維持に留意しつつ運営の効率化等に努めた結果、営業利益は前年同期並み（前年同期比+3.6%）で推移。

東京都 死亡者数｜月次推移



第２四半期（累計）｜63,895人（前年差△736人 前年比 98.9%）

東京博善 火葬件数｜月次推移



第２四半期（累計）｜29,759件（前年差△1,333件 前年比 95.7%）

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

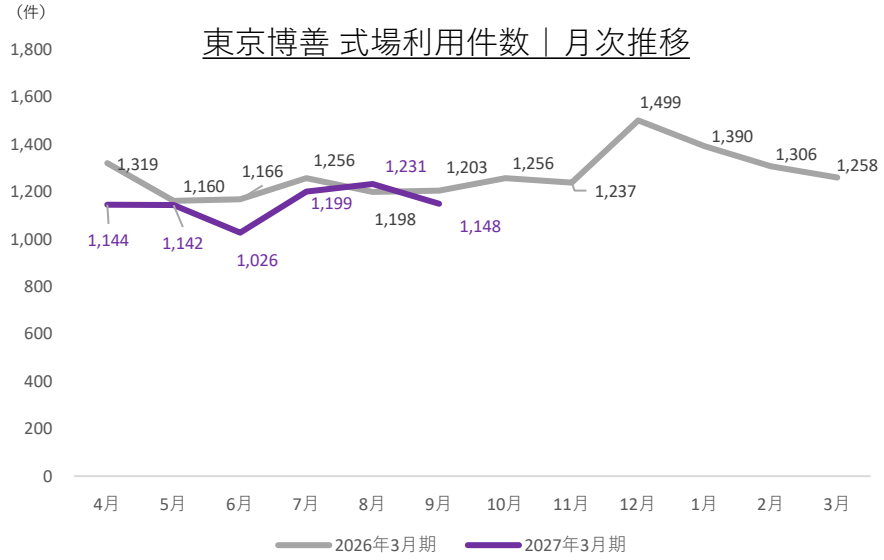
1-04　2027年3月期 第2四半期｜葬祭収益セグメントの状況

（単位：百万円）

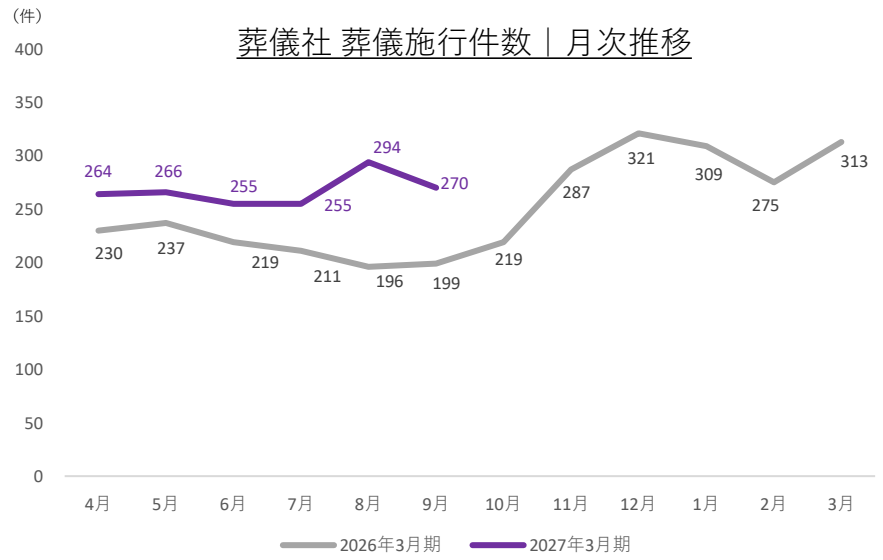
	会計期間								累計							
	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比		売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）
葬祭収益	**2,701**	2,513	188	7.5	**832**	879	△ 47	△ 5.2	**5,146**	4,952	194	3.9	**1,581**	1,660	△ 79	△ 4.7

［事業概況（累計）］

- 子会社葬儀社において葬儀施行件数が伸長（前年比124.1%）した他、横濱聖苑が継続寄与し増収。
- 東京博善の式場利用件数は足元では回復傾向にあるものの、来場者数減少に伴う付帯収益の落ち込みなど、これまでの累積影響をカバーしきれず減益。



第2四半期（累計）｜6,890件（前年差△412件 前年比 94.4%）



第2四半期（累計）｜1,604件（前年差＋312件 前年比 124.1%）

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-05　2027年3月期 第2四半期｜情報セグメントの状況

（単位：百万円）

	会計期間								累計							
	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比		売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）
情報	**3,136**	3,362	△ 226	△ 6.7	**26**	35	△ 9	△ 24.2	**5,767**	6,061	△ 294	△ 4.8	**△ 50**	△ 81	31	–

［Q２会計期間］

減収減益要因

- ✓ 新聞印刷事業の前期撤退や商業印刷におけるスポット案件の剥落などにより減収
- ✓ 印刷事業やBPO、IPグッズ事業の採算改善により、減収を吸収し、営業利益は微減に留める

［Q２累計］

減収損失縮小要因

- ✓ 新聞印刷事業の前期撤退が響き、BPOやIPグッズ事業の増収で補いきれず減収
- ✓ 徹底した業務効率化や高付加価値案件へのシフトが進捗し、営業損失縮小

［事業概況］

- 印刷：新聞印刷撤退の影響により減収となったものの、価格転嫁交渉や高付加価値案件へのシフトを進め、製造工程の内製化による原価低減などにより収益構造を改善。
- BPO：自治体向け支援案件等の受託が拡大、業務プロセスの効率化により採算性の向上に注力。

［新規取組］

- IPコンテンツグッズ：製造ラインの内製化を強化し、製造原価の継続的な圧縮を推進。
- DSRサービス：2026年9月1日より本格稼働を開始し、受注獲得に向け、積極的な営業展開。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-06　2027年3月期 第2四半期｜人材セグメントの状況

（単位：百万円）

	会計期間								累計							
	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比		売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）
人材	**1,226**	1,170	56	4.8	**3**	△ 20	23	－	**2,438**	2,700	△ 262	△ 9.7	**4**	2	2	45.0

［Q２会計期間］

増収増益要因

- ✓ 求人媒体事業の譲渡影響が一巡したことに加え、人材派遣事業が堅調に推移し増収
- ✓ 人材派遣事業における高収益案件へのシフトや業務効率化が進み増益

［Q２累計］

減収増益要因

- ✓ 主として第1四半期における求人媒体事業の譲渡（売上剥落）影響が残ったことにより減収
- ✓ 人材派遣事業の収益伸長に加え、海外法人の収支改善が進み、増益

［事業概況］

- 人材派遣：契約単価の適正化が着実に進捗したことで粗利率が向上し、利益伸長を達成。
- グローバル人材：特定技能分野の開拓および海外現地法人の収支改善を推進。
- ITソリューション（SES）等：稼働エンジニア数の維持と案件獲得が進み、収益を安定的に確保。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-07　2027年3月期 第2四半期｜資産コンサルティングの状況

（単位：百万円）

	会計期間								累計							
	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比		売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）	**2027年3月期 第2四半期**	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率（%）
資産コンサルティング	**35**	26	9	30.9	**13**	△ 39	52	－	**59**	218	△ 159	△ 72.9	**19**	55	△ 36	△ 65.0

［Q２会計期間］

増収増益要因

✓ 貸金業における融資残高・案件の着実な積み上げ等により増収増益

［Q２累計］

減収減益要因

✓ 減収減益の主因は、前年第1四半期に計上された不動産関連大型プロジェクトの剥落

［事業概況］

- 貸金業：案件の着実な積み上げが進捗し、セグメントの安定収益基盤として順調に稼働

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

2

株主還元

2027年3月期 中間配当について

剰余金の中間配当に関するお知らせ［2026年11月10日公表］

2026年5月15日に中間配当を公表しておりました通り、本年11月10日、当社取締役会において、2026年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議いたしました。

	決定額	直近の配当予想 （2026年5月15日公表）	前期実績 （2026年3月期）
基準日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
１株当たり配当金	６円６７銭	６円６７銭	６円６７銭
配当金総額	９８６百万円	－	９４２百万円
効力発生日	2026年12月9日	－	2025年12月9日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

3

2027年3月期
重点施策進捗
およびトピックス

3-01　成長投資｜葬祭セグメント「東京博善のお葬式」ホールの展開

- ✓ 自社葬儀ブランドの拡充、出店によるエリア拡大
- ✓ 都内高需要エリアへ出店、収益基盤の強化 × 成長投資の着実な回収

2026年9月末時点の展開



※()内の数字は、オープン年月

今後の展開（2027年3月まで）

4ホール
［2026年9月末時点］

2ホール追加予定

6ホール
［2027年3月末時点］

新規ホールの仕様および事業モデルの特徴	
施設形態	家族葬に特化した「**1日1組貸切型**」
出店戦略	高需要エリアへの**ドミナント展開**
社会貢献	火葬場との円滑な連携により、社会問題である「**火葬待ち・式場不足」の解消**に貢献
グループシナジー	「東京博善」ブランドによる集客と、**火葬までの一貫体制による高付加価値化**

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

成長投資｜情報セグメント DSR（デジタル・ショート・ラン）の始動

出版サプライチェーンの変革｜「ＤＳＲサービス」本格始動

- ✓ 出版業界の構造的課題の解決策として、2026年9月1日より稼働開始
- ✓ 適正コスト・適時での少部数増刷により、出版社の在庫・売り逃しリスクを解消

市場環境の変化と事業拡大のアプローチ

業界の構造的課題

大ロット前提から適量生産ニーズの拡大

- 大ロット前提のオフセット印刷では、過剰在庫と返本リスクが増大
- 少部数増刷の採算が合わず、重版未定や品切れ（売り逃し）が常態化

ＤＳＲによる解決

100～1,000部の小ロット領域を開拓

- 需要に応じた適時・適量生産で、出版社の在庫リスクを解消
- 出版社の柔軟な出版・供給体制の構築を支援、当社は増刷の継続的な受注獲得が期待できる

事業拡大に向けた手応え

- 当社開催のセミナー等を通じて既に多くの出版社が利用意向を提示
- 出版印刷の裾野を広げ、情報セグメントの継続的な事業拡大に寄与

導入意向（顧客反響）

約80社

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

3-03　トピック｜プライム上場維持基準への適合（2026年10月30日公表）

✓ 改善計画の実行により「流通株式比率」の基準を達成。全項目で適合。

2026年3月末時点で未達となっていた「流通株式比率」について、上場維持基準への適合に向けた計画に基づき取組みを進めた結果、**2026年9月30日時点において35.9%となり、基準（35%以上）をクリア**いたしました。

これにより、プライム市場の上場維持基準の**すべての項目において適合していることが確認**されました。

項 目		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況	2026年3月31日時点	9,833 人	552,320 単位	267 億円	33.6 %（未達）
	2026年9月30日時点	8,102 人	532,363 単位	287 億円	35.9 %（適合）
プライム上場維持基準		800 人以上	20,000 単位以上	100 億円以上	35 %以上

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

2027年3月期
業績予想　配当予想

2027年3月期 業績予想

前回公表（2026年5月15日）から変更なし

2027年3月期通期予想

売上・営業利益ともに成長路線への回帰を目指す

（各事業セグメントの戦略推進により上振れを追求）

（単位：百万円）

	通期予想	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	**39,400**	**36,228**	3,172	8.8
営業利益	**7,100**	**6,740**	360	5.3
経常利益	**6,900**	**6,571**	329	5.0
親会社株主に帰属する当期純利益	**4,620**	**4,738**	△ 118※	△ 2.5

※ 当期純利益の減益｜前期の税負担軽減および特別利益計上等の反動によるものであり、営業利益ベースでは着実な成長を計画。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

4-02　2027年3月期 業績予想：セグメント別

前回公表（2026年5月15日）から変更なし

2027年3月期

各セグメント（葬祭公益セグメントを除く）で、増益を計画

（単位：百万円）

	業績予想	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	39,400	36,228	3,172	8.8
葬祭公益セグメント	5,846	5,428	418	7.7
葬祭収益セグメント	13,270	10,490	2,780	26.5
情報セグメント	15,096	14,972	124	0.8
人材セグメント	5,097	5,048	49	1.0
資産コンサルティングセグメント	91	288	△ 197	△ 68.4
営業利益	7,100	6,740	360	5.3
葬祭公益セグメント	1,071	1,191	△ 120	△ 10.1
葬祭収益セグメント	4,556	3,628	928	25.6
情報セグメント	678	655	23	3.5
人材セグメント	54	△ 71	125	-
資産コンサルティングセグメント	37	△ 56	93	-
調整額	703	1,393	△ 690	△ 49.5

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 配当予想

前回公表（2026年5月15日）から変更なし

2027年3月期

✓ 発行済株式数の変動によらず、安定的な配当を優先

✓ １株当たり配当金の維持・向上を目指します

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2026年3月期 実績	6円67銭	6円67銭	13円34銭
2027年3月期 予想	6円67銭 （実績）	6円67銭	13円34銭

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A

Appendix

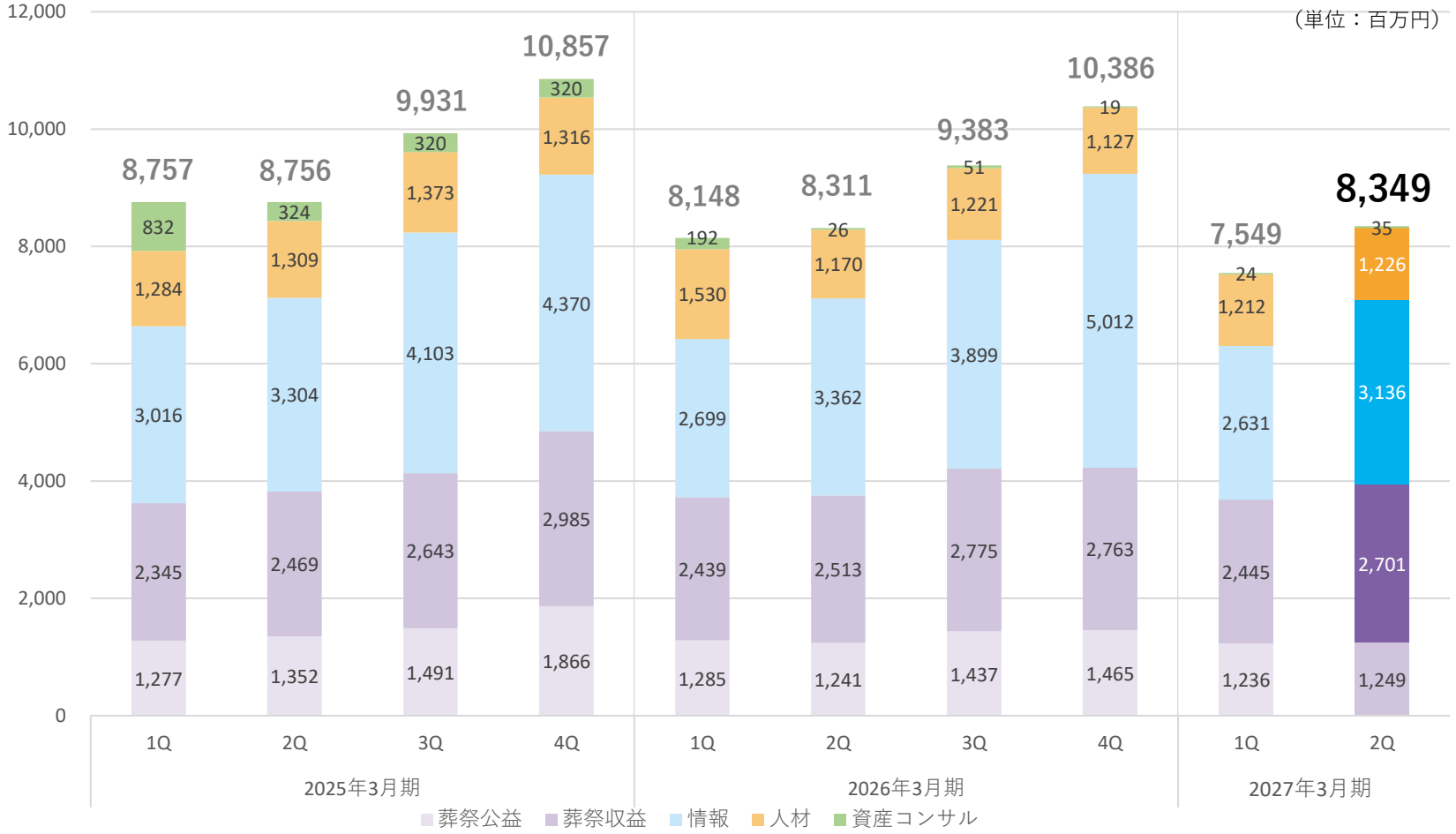
1．2027年3月期業績詳細

2．ESG 報告

3．会社紹介

A1-01 四半期売上高推移

- 第２四半期 売上高は、前年同期比で増収（＋38百万円、前年比100.5%）
- 新聞印刷撤退に伴う情報の減収を、葬祭収益や人材がカバーし全体で増収。

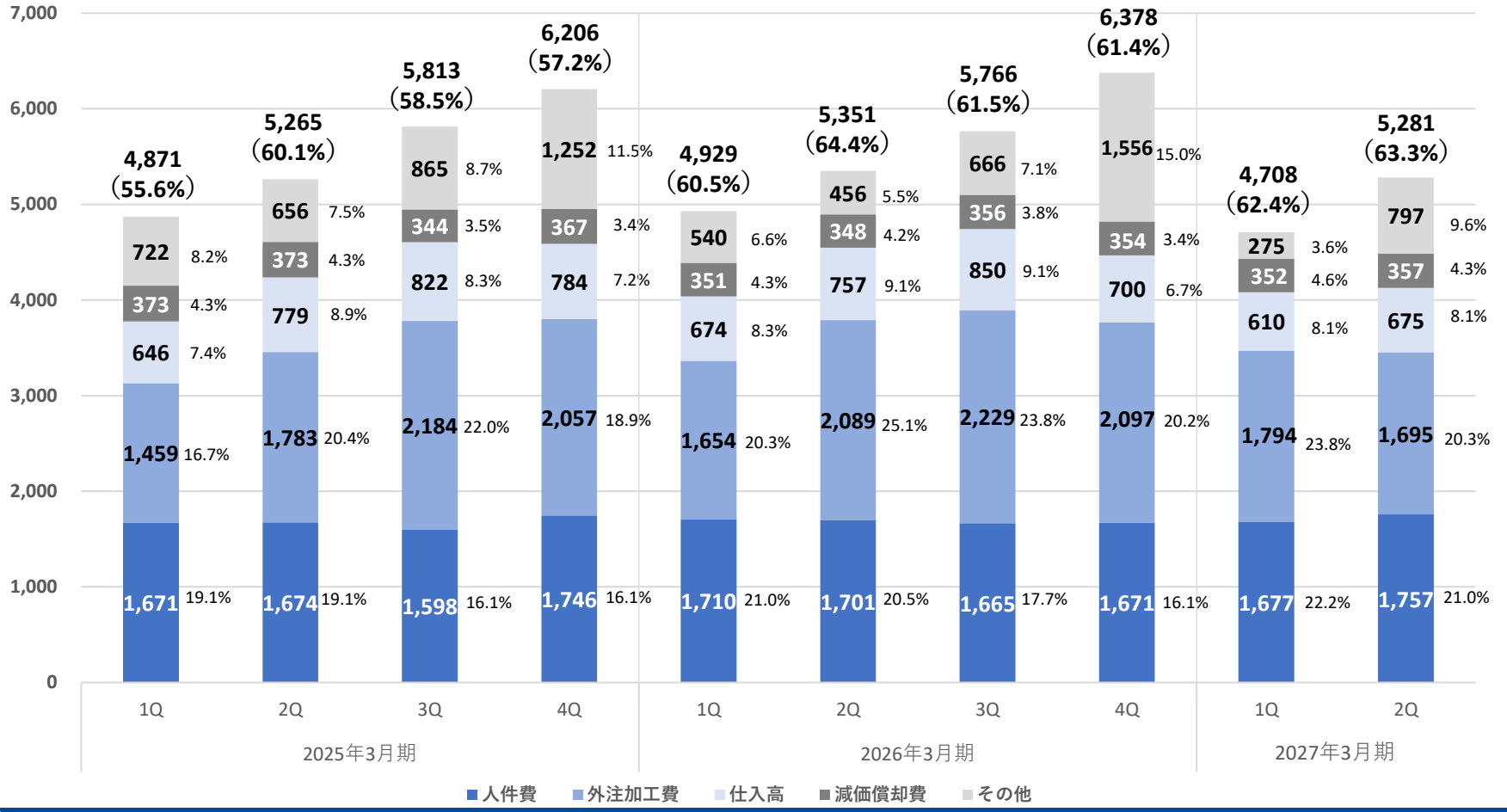


Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A1-02 四半期原価推移

- 第2四半期 売上原価は前年同期比（△70百万円、売上高原価率△1.1pt）
- 主に前年同期の商業印刷スポット案件剥落に伴う外注加工費の減少による

（単位：百万円 ／ %：売上高原価率）

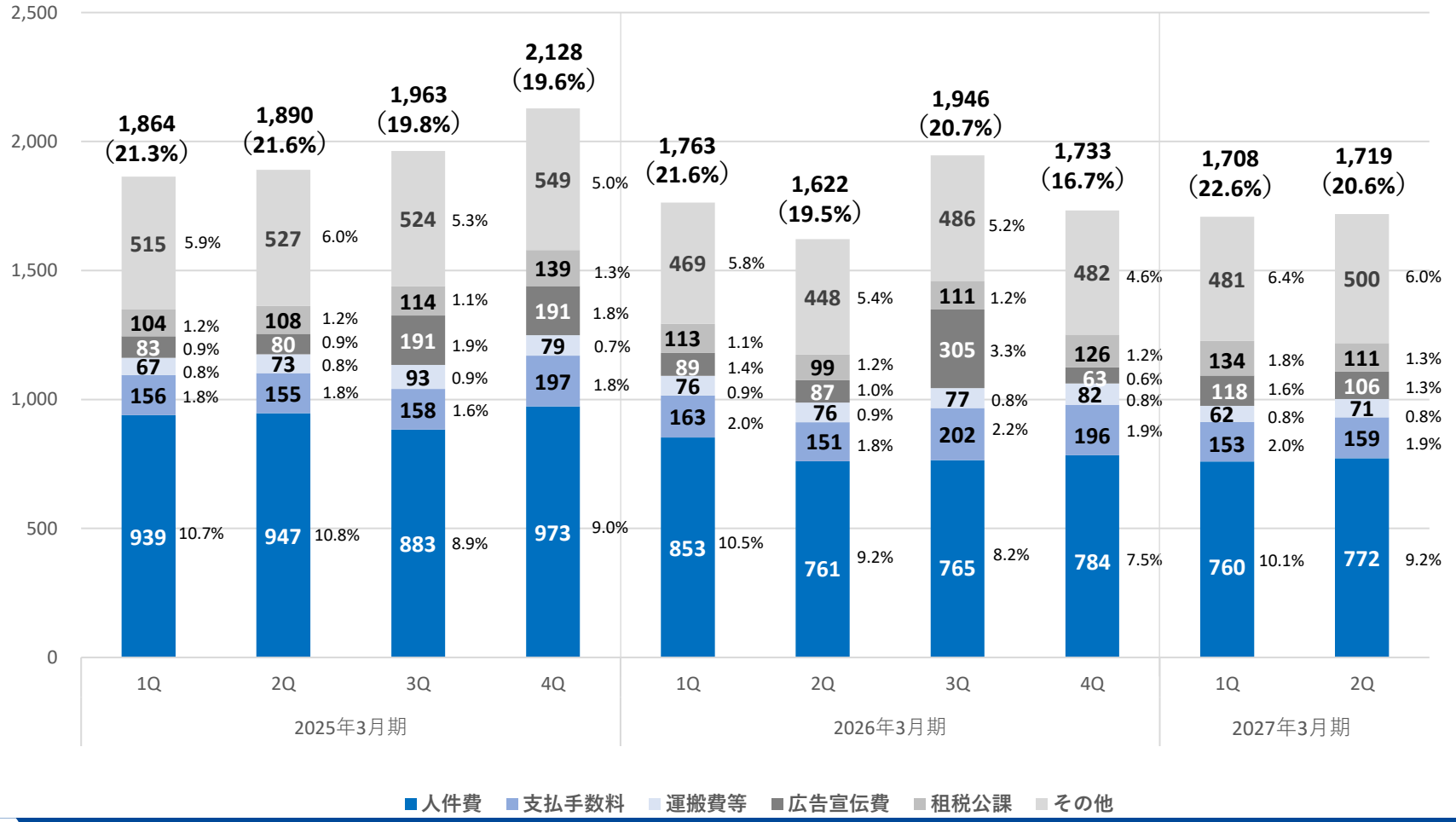


Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A1-03 四半期販管費推移

- **第2四半期 販管費は前年同期比増加（＋97百万円、売上高販管費率＋1.1pt）**

（単位：百万円 ／ %：売上高販管費率）



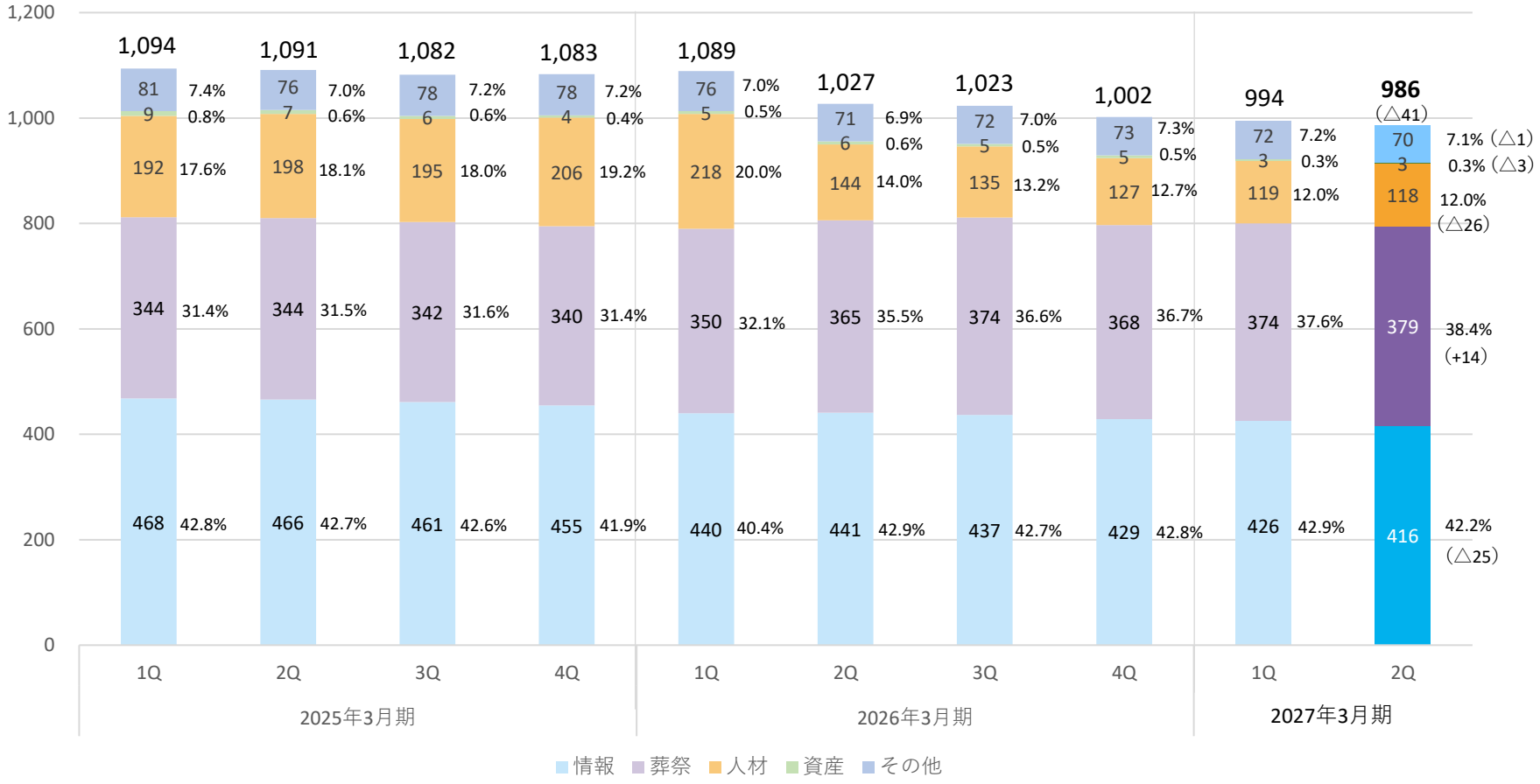
Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A1-04 四半期人員数推移

・第２四半期の人員数は、葬祭で増加したものの、情報における自然減やＢＰＯ業務効率化に伴う人員適正化等により、前年同期比で減少。

（単位：人 ／ %は構成比率）

※（）内は、前年同期比増減

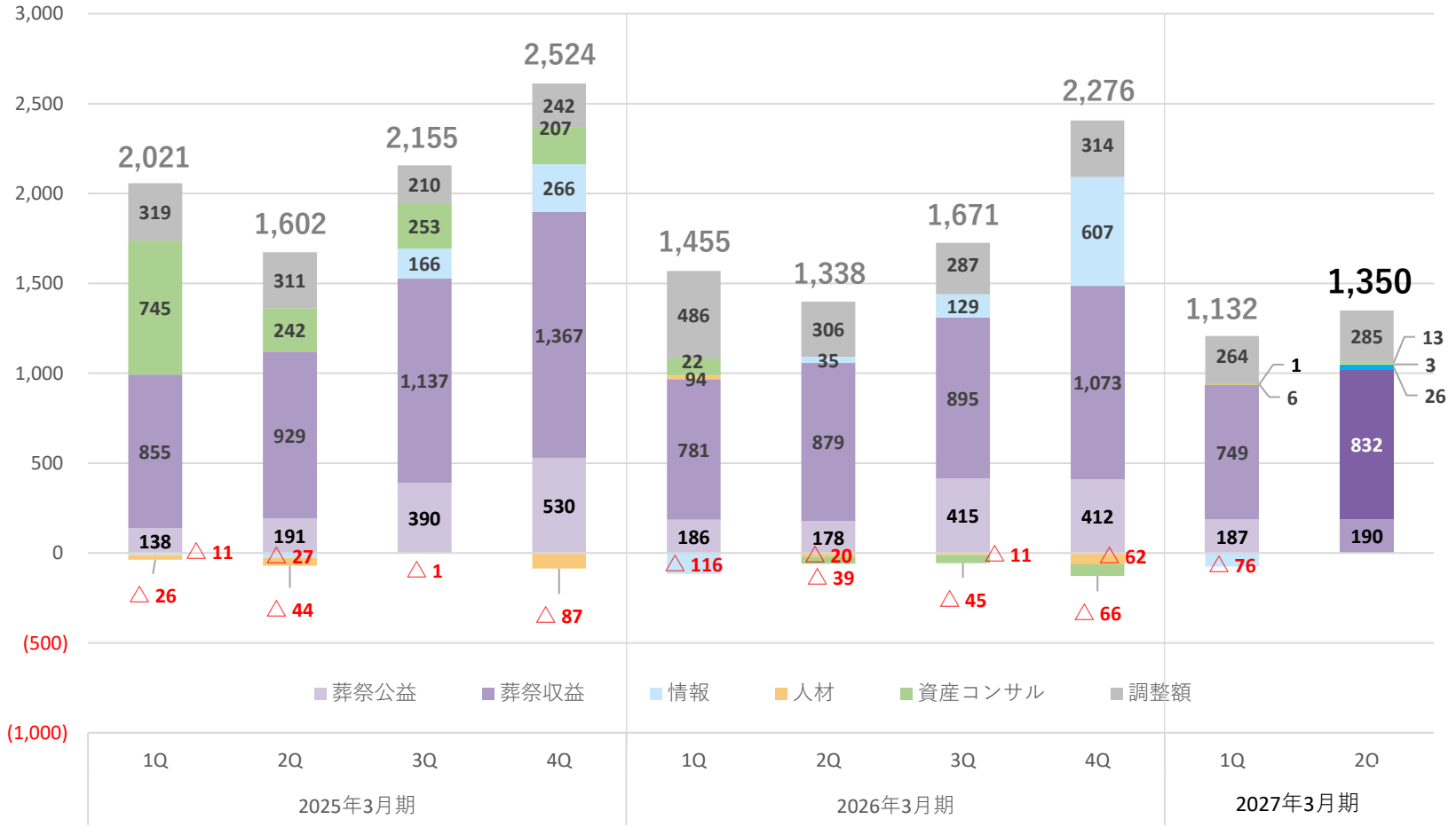


Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A1-05 四半期営業利益推移（セグメント別）

- 第2四半期の営業利益は、前年同期比0.9 %増。葬祭収益の減益を他事業の収益改善で吸収。当四半期においては全セグメントで営業黒字を確保。

（単位：百万円）

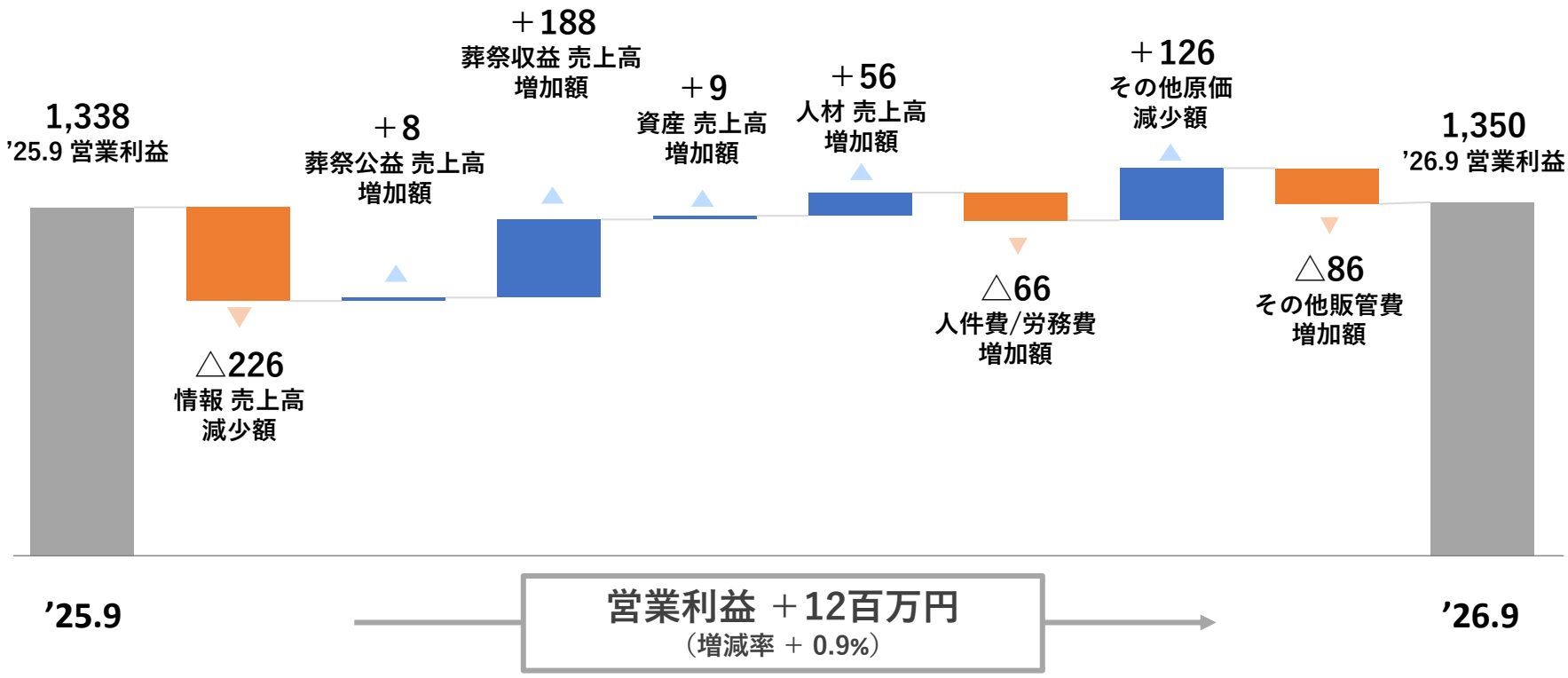


Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A1-06 2027年3月期 第2四半期会計期間　営業利益増減分析（主要項目）

- 前年同期対比では、情報における売上減を葬祭収益や人材の増収でカバー。人件費や販管費の増加があったものの、原価低減等により吸収し、営業利益は前年同期比＋12百万円（＋0.9%）の増益。

（単位：百万円）



Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A1-07 連結貸借対照表推移

（単位：百万円）

	2026年3月	2026年9月	前年差
流動資産	30,120	28,861	△ 1,259
現金および預金	22,423	21,660	△ 763
受取手形および売掛金	4,876	3,494	△ 1,382
固定資産	41,845	42,098	253
有形固定資産	37,156	37,097	△ 59
無形固定資産	1,047	1,117	70
投資その他資産	3,640	3,882	242
資産合計	71,966	70,959	△ 1,007
流動負債	10,132	9,873	△ 259
短期借入金	1,400	1,400	－
未払法人税等	1,135	624	△ 511
固定負債	12,304	10,529	△ 1,775
負債合計	22,436	20,402	△ 2,034
株主資本	49,266	50,182	916
資本金	3,261	3,267	6
利益剰余金	39,039	35,913	△ 3,126
新株予約権	50	48	△ 2
純資産合計	49,529	50,557	1,028
負債・純資産合計	71,966	70,959	△ 1,007

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A1-08 葬祭公益事業の収支｜2027年3月期

葬祭公益事業は、公益性の高い事業であり、永続性と非営利性が求められます

透明性の向上 ▶ より一層の事業安定

■ 葬祭公益事業に対する当社の責任

火葬設備における 維持・更新にかかる投資	葬祭公益事業における 損失等に対する備え

■ 葬祭公益事業収支の考え方（算出式）

葬祭公益セグメント利益 － 法人税等 － 火葬炉特別修繕積立金 ＝ 収支残

＝

（葬祭公益事業損失準備積立金）

■ 2027年3月期における事業収支｜2026年4月～2026年9月累計

（単位：百万円）

①葬祭公益セグメントの利益			④法人税等	⑤火葬炉特別修繕積立金	⑥事業収支	収支残は利益処分	⑦葬祭公益事業損失準備積立金
②セグメント売上高	③セグメント コスト	（②－③）＝			（①－④－⑤）＝	▶	
2,485	2,108	377	119	375	△ 117		0

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

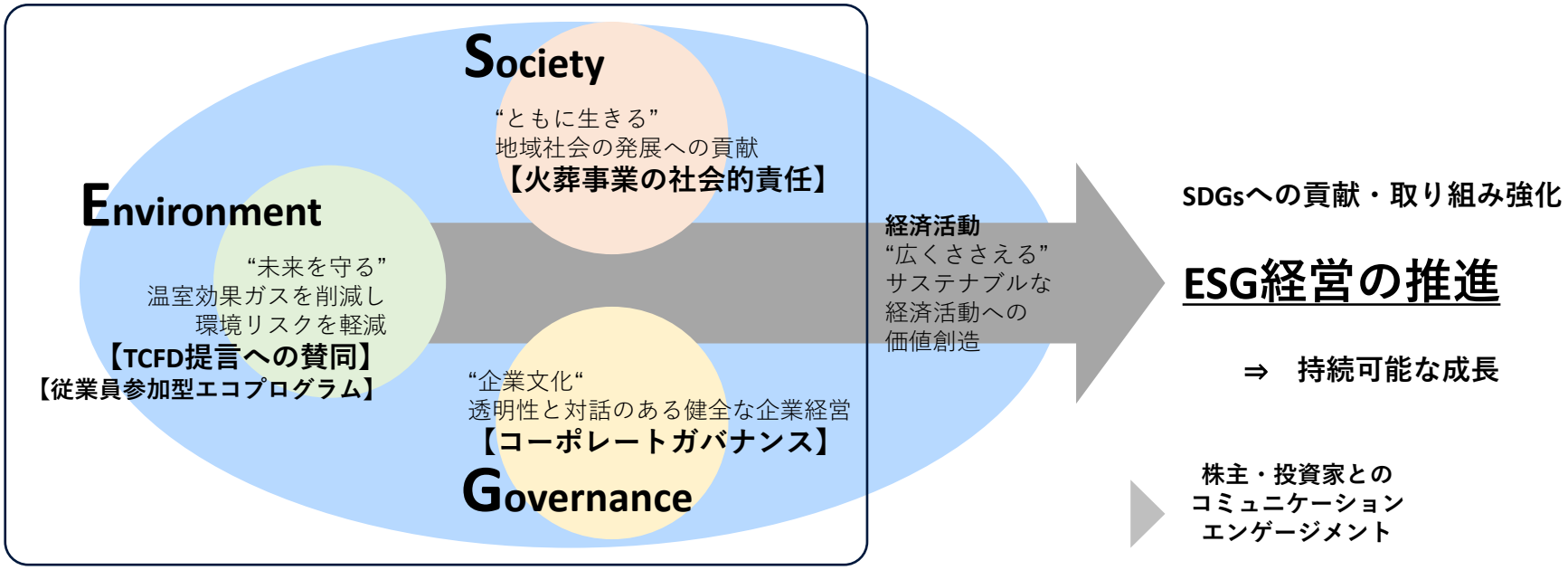
A2-01 ESG報告

広済堂ホールディングスのESG報告は、株主・投資家・お取引先を始めとする幅広いステークホルダーの皆さまに、当社のサステナビリティ推進の考え方や具体的な取組みを理解していただくことを目的としています。「広済堂グループ SDGｓ宣言」において策定した４つのマテリアリティ（重要課題）は、ESGにおいても連動しながら推進し企業経営ともリンクしております。

わたしたちの社名にある「広済」には「広く社会に貢献する」という意味があり、創業以来、この普遍的な理念のもと、葬祭公益セグメント、葬祭収益セグメント、資産コンサルティング、情報、人材関連などの事業を多角化し、人や社会から“感謝”される価値あるサービスを提供し展開しております。企業理念の実現のための行動とともに、SDGsへの貢献を意識したESGの具体的な取組みをご紹介いたします。

広済堂グループ
SDGs宣言

https://www.kosaido.co.jp/sdgs/



Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A2-02 ESG 報告 ［Society／社会］ ～火葬事業の社会的責任～

当社は、「広済」（「広く社会に貢献する」の意）の精神のもと事業を行い、特に東京博善の火葬事業においては、その精神の継承と実践を通して広く地域社会に貢献しています。

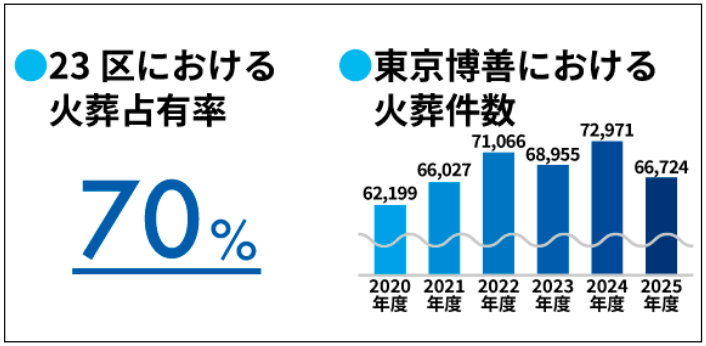
本来、火葬場運営は「墓地・埋葬等に関する法律」によって定められており、経営主体は原則として地方公共団体とし、より難い場合であっても公益法人、宗教法人であることとされていますが、都内においてはその法律が施行される前から東京博善が火葬場を運営していたこともあり、民間企業である東京博善が6カ所の火葬場を運営しております。また、東京博善が有する火葬場は、江戸から明治にかけて整備された歴史があり、現在では都内の好立地な場所に施設を構えています。

さらに、東京博善が有する斎場には64基*の火葬炉が稼働しており、火葬のお取り扱い件数は年間約7万件＊ 、これは都内23区内死亡者数の約70% *にものぼります。それゆえご来場者数も多く約70万人のお客様にご来場いただいています。 （*2026年3月現在）

設立から100年以上、民間企業ゆえ公的な援助はなく、大都市東京の社会インフラを守り社会的な責任を果たす必要不可欠な事業となっており、地域社会への貢献はもちろん、火葬事業を通じて地域社会の発展を支えております。



● 都心部における斎場分布図



Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A2-03 ESG 報告 ［Society／社会］ ～火葬事業の社会的責任～

“火葬待ち”の無い、多死社会を。 ～私たちの努力で目指します～

地域社会のみならず社会全体が直面する多死社会は、年々深刻さを増していきます。死亡者数推移の資料（次ページ参照）の通り、全国の死亡者数は2040年頃までにピークを迎え、東京においては2065年までは増加傾向になります。

40年後に東京の死亡者数は約1.7倍になる

2022年：12万人 ▶ 2060年：20万人

※死亡者数推移の詳細については次ページ資料をご参照ください。

すでに多死社会が問題視されている状況下において、火葬事業に従事する関係者には、速やかな対応が求められてます。しかし、自治体が運営する公営施設では十分な対応ができているとは言い難くすでに火葬待ちが発生し、今後さらにご遺族のご希望通りに葬儀を執り行うことができない事態も懸念されています。

こうした多死社会への対応において、東京博善は民間企業ならではの事業視点をもって社会課題・問題を正確に把握し、公費に頼らない永続的な運営を目指し努力を重ねています。100年にわたる歴史を持つ東京博善は、東京という人口の多い都市で加速度的に進む多死社会化に真摯に向き合い、いつの時代も滞りなく火葬および葬送が執り行える社会を構築していく企業努力が社会的責任であると考えます。

また、東京博善の存在をなくして、東京の葬送は成り立たないと強く認識し、これからの100年のみならず未来永劫的に事業を遂行していくことが企業の大きな社会的意義にもつながっています。全ての社会や地域の人々と信頼の絆を結ぶと共に、企業としての責任と求められる適正な行動を自覚し、社会から常に貢献を認められる企業であることを目指します。

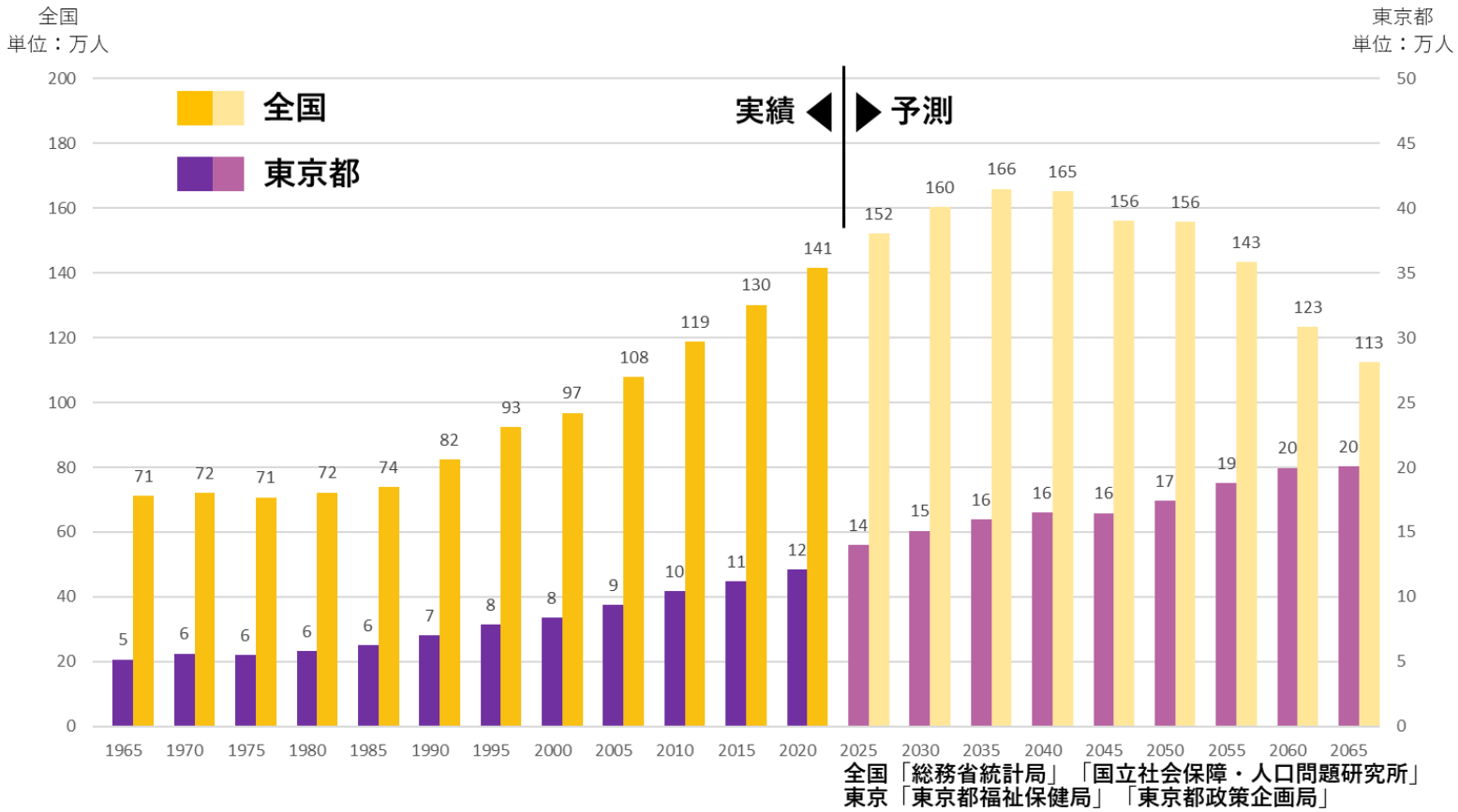
■火葬待ちを無くすための具体的施策■

首都圏の火葬インフラを担う立場として、昨今の火葬待ち日数の増加という社会課題の解決に向け、**冬季の営業日数拡大と営業時間の延長を実施。**火葬炉の稼働を最大化し、火葬炉の稼働率を70％以下に維持することで、ご利用者の希望する日時にて火葬を実現できる体制を構築しました。

また、**夕方から葬儀・告別式そして火葬を１日で行うことができる「夕刻葬」を開始。**選択のバリエーションが増えるとともに、火葬待ち軽減に寄与できる新しい葬儀のカタチをご提案しています。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

人口動態｜死亡者数推計



全国「総務省統計局」「国立社会保障・人口問題研究所」
東京「東京都福祉保健局」「東京都政策企画局」

全国の死亡者数は2040年頃ピークアウトするが、東京は少なくとも2065年まで増加傾向
（※ なお2022年全国死亡者数158万人）

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A2-05 ESG 報告 ［Society／社会］ ～火葬事業の社会的責任～

東京博善の取り組み

■円滑な葬儀を実現し、社会的責任を担う火葬技術。

多くの火葬場が「台車式」という火葬炉を導入している中、東京博善では火葬件数の増加に耐えうるよう、短い時間でご火葬ができる「ロストル式」の火葬炉を導入。他火葬場が通常2～3回転/日のところ、7～9回転/日で稼働をさせています。葬儀を執り行うまでの待ち時間をなくし、ご遺族にとって心理的なご負担を軽減。多死社会に対応すべく、技術はもちろんオペレーション向上にも力を注いでいます。



四ツ木斎場　火葬炉前

■環境への配慮。新・次世代型火葬炉システムを開発。（特許取得）★環境配慮

環境保全への取り組みとして、CO_2の排出量を減らしながら、ダイオキシンを抑制する次世代型の火葬炉システムの開発を推進。火葬炉余熱による発電と電力還流システムによる、国内初となる環境配慮型の新・火葬炉システムを開発しました（特許取得）。新・火葬炉システムは、従来型火葬炉システムと比べて大幅に排気ガス量を抑制し、CO_2やダイオキシンなどの有害物質の低減を実現しました。

7.2 再生可能エネルギー

9.4 資源活用、環境技術、産業プロセス・インフラの改善

■地域との交流を通し相互理解を目指す地域イベント開催。★CSR活動

都内6カ所の各斎場では、近隣地域の方々のご理解・ご支援の感謝をこめたイベント「地域感謝の集い」を開催。館内見学ツアーや朝市、障がい者就労支援商品の販売、落語会、ミニコンサート、絵画展、健康セミナーなど様々な催しを実施し、お子様から大人までの幅広い世代の皆様に、楽しく有意義なひとときをお過ごしいただける場となるよう努めています。各斎場ともご盛況をいただいております。



順次、開催斎場を移し開催。
地域の方が楽しんでいただける趣向をこらしたイベントを企画しております。
※「地域感謝の集い」のイベント開催情報などは、東京博善ホームページにて随時ご案内しております。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A2-06 ESG 報告 ［Society／社会］　～火葬事業の社会的責任～

東京博善の取り組み

■小学生向け啓発冊子「東京博善×うんこドリル“出会いとおわかれ”」の制作



サステナビリティ活動の一環として、株式会社文響社と共同で「東京博善×うんこドリル“出会いとおわかれ”」を制作しました。子どもたちに人とのつながりや感謝の大切さを伝え、家族で語り合う機会の創出に取り組んでいます。冊子は各斎場や地域イベント、全国の希望する小学校などで配布しています。

■伝統行事を通じた地域とのつながりの継承



100年以上続く伝統行事として、当社斎場でご火葬された御霊を弔う「彼岸供養祭」を年2回開催しています。社員や地域の皆さまにもご参加いただきながら継続して実施し、故人への追悼と地域とのつながりを大切にしています。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A2-07 ESG 報告 ［Environment／環境］

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づく情報開示

当グループは、2022年にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同するとともに、国際社会の重要な課題となっている温室効果ガスの排出量の増加や地球温暖化の影響による極端気象に対し、サステナビリティ経営を推進する「SDGs宣言」を発表しました。「環境」をテーマとしたマテリアリティを設定し、パートナーとの連携でさらなる環境へのリスク軽減を目指してまいります。また、TCFDに沿った情報開示を開始し、ステークホルダーの皆さまからのフィードバックから、気候変動に関する経営戦略強化につながるPDCAサイクルを継続的に実行していきます。

開示情報のアップデート（2026年度版）　※2026年7月公表

TCFD提言は、気候変動により会社経営にどのような影響を及ぼすかを的確に把握すべく、４つの要素である「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と実績」に沿って情報開示をしています。以下の通り、各要素については最新の情報にて対応しています。

■「ガバナンス」について：
ガバナンス強化のためのリスク管理委員会との連携強化、
およびサステナビリティ推進体制の再整備強化

■「戦略」について
シナリオの定義に基づき、経営におけるリスク/機会の洗い出し
および定性評価の実施状況確認

■「リスク管理」について：
リスク管理の体系化およびエスカレーションプロセスの確認

■「指標と実績」について：
2025年度のScope1／Scope２排出量実績の再算出

「2026年度版・TCFD提言に基く情報開示」は、
弊社ホームページ［IRサイト/環境方針］にて
2026年7月に公表をしております。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A2-08 ESG活動 報告 ［Governance／ガバナンス］

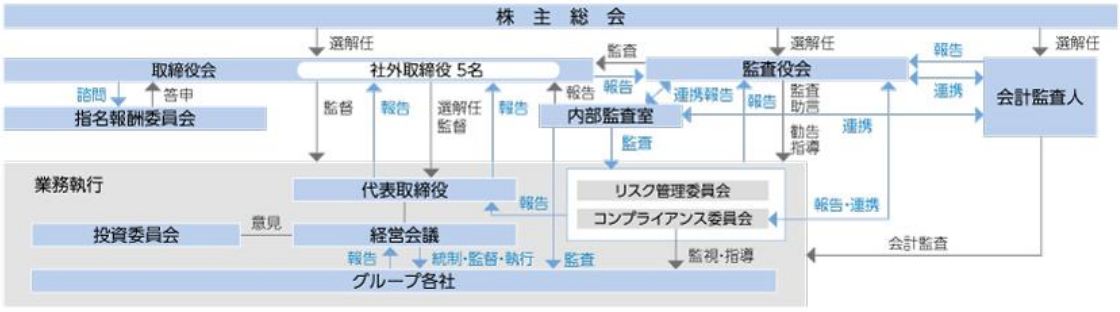
株主価値の最大化と持続的な企業価値の向上及び社会から信頼される企業を目指し、収益力の向上はもちろんのこと、株主の権利を重視し、効率的で公正かつ透明性の高い経営の実践、コンプライアンスの徹底を実施しております。さらには、環境、社会、ガバナンスの側面から企業に求められている社会的責任を果たし、加えて企業と社会の持続可能な成長のための社会課題に取り組むこと等により、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。

コーポレート・ガバナンス体制の概要

■取締役会　監査役会設置会社として、取締役による的確な意思決定と迅速な業務執行を行う一方、適正な監督及び監視を可能とする経営体制を構築し、コーポレート・ガバナンスの充実を図り、基本的な考え方に基づき、経営の公正性及び透明性の向上に努めています。また、独立社外取締役及び独立社外監査役を主なメンバーとする任意の指名・報酬委員会を設置し、取締役の報酬及びその決定方針並びに取締役の各候補者案について審議を行い、取締役会に対して答申を行っています。取締役会は業務執行取締役２名、非常勤取締役１名及び社外取締役５名並びに監査役が出席し、原則月1回の定例取締役会のほか、必要に応じ臨時取締役会を開催し、経営目標や経営戦略など重要な事業戦略、また法令で定められた事項を決定するとともに、業務執行の状況を監督しています。

■監査役会　常勤監査役1名、社外監査役2名を選任し、経営監視機能の客観性及び中立性を確保し、ガバナンスのあり方や運営状況を監査しております。また、社外監査役２名を独立役員として指名し、社外取締役及び社外監査役の役割は中立・公平な立場を保持し、株主の負託を受けた独立機関として、経営の中立性・客観性の確保を担保することであると理解しております。

● コーポレート･ガバナンス体制図



コーポレート・ガバナンスに関しての詳細については、弊社ホームページ「IR情報＞コーポレート・ガバナンス」にて開示しております。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A3-01 会社概要

会社名	株式会社広済堂ホールディングス			創業	1949年1月
売上高	36,228百万円 （2026年3月期）	総資産	70,959百万円 （2026年9月末）	純資産	50,557百万円 （2026年9月末）
代表者	代表取締役会長CEO 羅怡文，代表取締役社長COO 常盤 誠				
従業員数	986人（連結｜2026年9月末現在）				
市場情報	東京証券取引所プライム市場 （証券コード：7868）				

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A3-02 沿革

1949年
櫻井謄写堂を**創業**
（情報ソリューション事業開始）



1970年
日本初の
コンピュータ組版会社設立

1977年
求人情報誌創刊
（人材サービス事業開始）



1984年
東京博善がグループに加わる
（エンディング関連事業開始）



2013年
ベトナム法人設立
（海外人材事業開始）



広済堂グループ

2021年
持株会社体制に移行

2022年
葬儀サービス開始
・広済堂ライフウェル
・グランセレモ東京



2023年
資産コンサルティングサービス開始
・東京博善あんしんサポート



Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

MISSION

人生100年をもっと豊かに

VISION

たくさんの“ありがとう”をつくり出す会社

VALUE

一人ひとりの挑戦と、組織としての強いつながりで、ありがとうに溢れる革新的なサービスを提供します

当社は、社名にある「広済」（広く社会に貢献する）を経営理念とし、社会の発展と人々の豊かな暮らし創りの担い手として、信頼される企業グループを目指しております。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

GROUP 広済堂グループ

人生100年を
もっと豊かに。

広済堂ホールディングス

KOSAIDOはグループの力を結集し、
「エンディング関連事業」「情報ソリューション事業」
「人材サービス事業」の3つの事業領域から
人々の人生100年を総合的に支援。
より良い環境、豊かな生活、そして希望に満ちた社会を
この先の未来に実現する革新的な
サービスの創出にチャレンジします。

エンディング関連事業

東京博善

広済堂ライフパートナーズ
- 広済堂ライフウェル
- 横濱聖苑
- セレモライフ

グランセレモ東京

東京博善あんしんサポート

広済堂ファイナンス



[サービス]
火葬場運営・式場提供
葬儀サービス
エンディング関連ビジネス
税務・不動産・金融サービス

情報ソリューション事業

広済堂ネクスト

威海廣済堂包装



[サービス]
オフセット印刷(出版・商業)
デジタル印刷
パッケージ印刷
IT･デジタルソリューション
販促プロモーション支援
D2Cビジネス支援
デジタルプロモーション支援
BPOサービス
キャラクターマーチャンダイジング

人材サービス事業

広済堂ビジネスサポート

キャリアステーション

ファインズ

CAREEWAY

KOSAIDO HR VIETNAM

Yuki日本語センター

Zen外国語センター

KOSAIDO HR INDONESIA



[サービス]
海外人材サービス
人材派遣
登録支援機関
人材紹介
SES
教育研修
ハウスキーピングサービス

※2026年10月1日時点

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A3-05 広済堂グループSDGs宣言

私たちは「広く社会に貢献する」

企業理念の実現のための行動を

起こすべく、

「SDGs」に貢献する

4つのマテリアリティを定めました。

希望ある未来を創造するため、

社員も含めたステークホルダーの

皆さまとともに、

“iDO”を社会課題解決の実現という

“DO”につなげてまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

経済
広くささえる

サステナブルな経済活動への価値創造

目まぐるしく変化する世情の中においても、わたしたちのDNAである「広済(広く社会に貢献する」の名のもと、サステナブルな経済活動のイノベーターとなり、既成概念に捉われない柔軟性で共創価値を創造します。



社会
ともに生きる

公平で多様性のある地域社会の発展

これからの「人生100年時代」に、誰もが自分らしい生き方を選ぶことができるよう、“思いやりファースト”で地域社会のファシリテーターとなり、身も心も自由なライフスタイルを実現します。



iDo ▸ Do it

未来を＋にする会社

環境
未来をまもる

環境負荷軽減による美しい地球の継承

次世代を生きる子どもたちや生き物が共存できるよう、地球のライフセーバーとなり、温室効果ガスの削減や生態系の保全に努め、パートナーとの連携で更なる環境リスク軽減を目指します。



企業文化
笑顔でつながる

透明性と対話のある健全な企業経営

法令遵守はもとより、誰ひとり取り残さないSDGsの普遍的価値に基づく「人権尊重」「ジェンダー平等」「女性のエンパワーメント」推進によって、一人ひとりがムードメーカーとなり、働きがいある職場づくりとコミュニケーションにあふれる企業文化を守り続けます。

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

A3-06 問い合わせ先

本資料 及び その他ＩＲに関するご意見・ご質問がございましたら
下記ＵＲＬよりお問い合わせください。

また『機関投資家・アナリスト様向け 施設見学会』
（東京博善(株)の運営する斎場見学）を適宜開催しております。
ご希望される場合は、下記ＵＲＬよりお問い合わせください。

問い合わせフォームURL

https://www.kosaido.co.jp/contact/

Copyright KOSAIDO Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

人生100年をもっと豊かに

＜本資料についてのご注意＞
本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性から、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうることを、ご承知おき下さい。

KOSAIDO GROUP
広済堂ホールディングス

https://www.kosaido.co.jp/